

地方分散に向けた関係人口の創出や  
移住・定住の促進について  
(中国 5 県)

## 時間や場所を問わない地方での新しい働き方 ワーケーションを推進

### ○日本能率協会マネジメントセンターと協定締結



鳥取砂丘を舞台にした企業研修プログラム「here there」を実施（2021.3予定）



### ○ワーケーション拠点も充実！

里山空間にある廃校を活用した地域交流型複合施設「隼Lab.」や海が一望できるクリエイティブスペース「TORICO」などワーキングスペースが充実。



## 都市圏の大企業も注目！鳥取で副業・兼業

### ○鳥取県で週1副社長



WEBサイトで  
副業・兼業を募集

### ○令和元年度…14社に約1,400名応募

⇒12社に23名の副業・兼業が決定

### ○令和2年度…71社に約1,000名応募中

⇒50社50人以上の決定を目標！

## なぜ鳥取県？客室乗務員などの出向先に



ANA再建に鳥取県が一役。旅館やホテル等に出向、サービスの向上にも活かすWinWinの関係に（10/28 Yahoo!）

## オンラインで関係人口を形成

### ○『#よきよき鳥取』おうちにお届け！仕送り便

県内外の大学生等へ県産品の仕送り便キャンペーンを実施（県産米・お菓子のコース）

**応募学生4,600名以上**



### ○とっとりオンラインコミュニティ（大学生向け）

オンラインで県内外の学生や社会人がつながり、学生主体で新たな企画にチャレンジする「とっとりオンラインコミュニティ」を創設。

＜キックオフ交流会（10/28,29開催）＞

- ・学生による企画提案
- ・学生と社会人との交流

**県内外の大学1～4年生  
約40人が参加**



### ○オンライン若者交流会「とりバル

～ととりの魅力を伝えるオンライン交流会～

全国を対象として、鳥取の食を味わいながら鳥取の魅力を発信する若者交流会を4回開催。

第1回目（11/1）  
（テーマ：DIYと場づくり）

**定員30名に対し  
35名が参加**



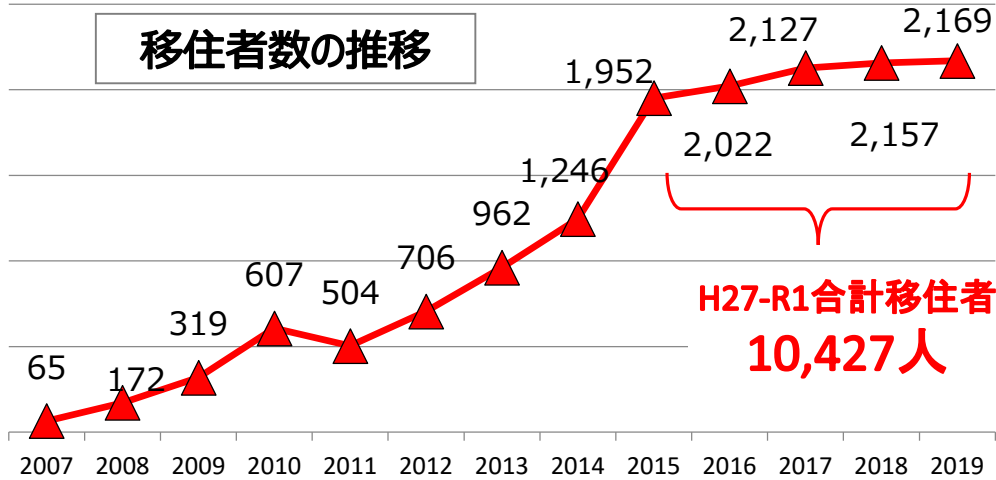
# 地方分散に向けた関係人口の創出や移住・定住の促進

鳥取県

H27～R1の5年間の移住者目標数

(単位：人)

**8,000人⇒1年前倒しで目標達成**



**若者の転出超過対策が急務**

2019年通年では**1,248人の転出超過**

(うち**15～29歳は1,136人の転出超過**)

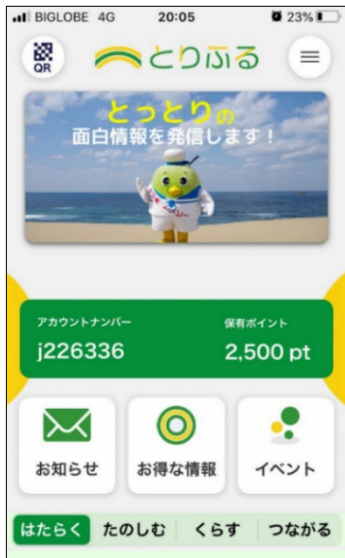
未来人材育成奨学金支援助成金



- 利用者の声
- 県内就職のきっかけとなった 61%
  - 県内就職に効果があると思う 88%

既に**485名**が就職し県内で活躍中！  
(うち341名が県外から) R2年3月末現在(累計)

## ふるさと鳥取アプリ「とりふる」



県内の就活情報等を配信するアプリ「とりふる」を令和2年2月稼働開始。(現在の登録者数約1万人)

県内の大学生等や県内出身の県外大学生等へ、県産品の仕送りキャンペーンも実施。(4600人以上に発送)

## アグリスタート研修

就農を目指し、東京、大阪から移住**先進農家**での**実践研修**

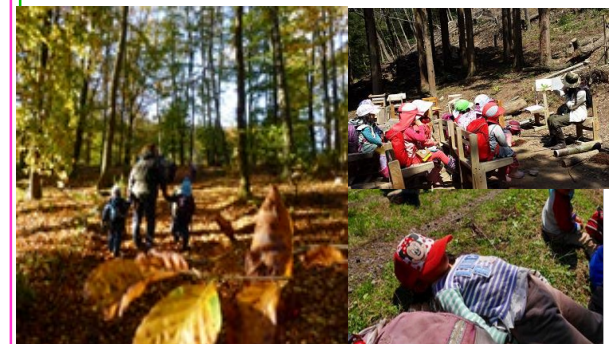


**特産 白ネギ農家**として夫婦で就農

143名の研修修了者のうち  
112人が県内就農  
(うち84人が移住者)

## 森のようちえん

四季折々の自然のなかで保育  
**子育て環境に惹かれ移住者が増加**

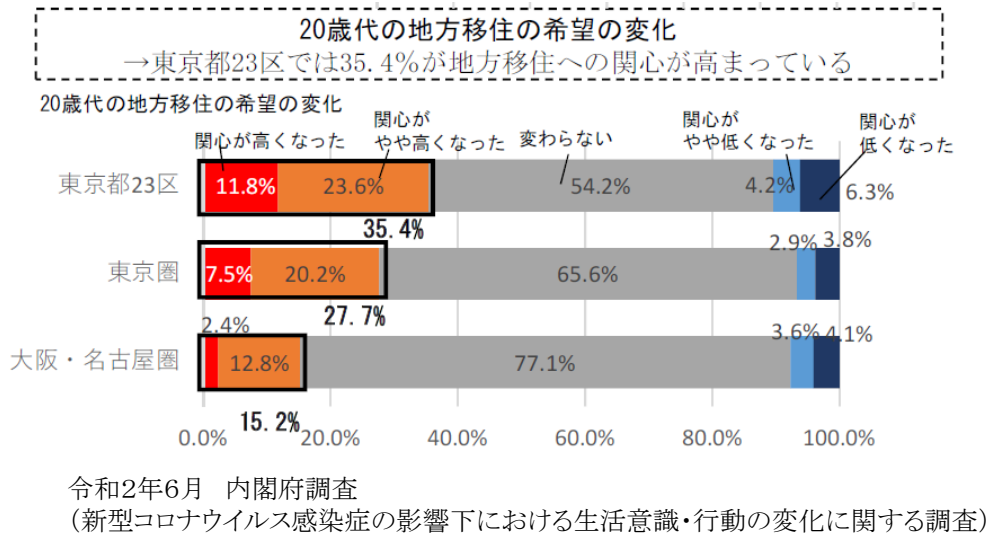


入園児の**2割**が移住者  
R2.4.1時点

## 1. 都市部から地方への人の流れ

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、過度な人口集中による大都市部の脆弱性が認識された。
- 地方のもつ良さが再認識されることにより、人々の価値観に大きな変化が生じている。

⇒ 都市部から地方への人の流れをしっかりと掴むことが必要。



## 2. 関係人口の創出

都市部にいながら何らかの形で島根と関わりたいと希望する人々を掘り起こし、  
地域活性化や将来の移住に繋げる。



(しまコト卒業生の活動事例)

- ◇インターネットラジオで島根県をPR
- ◇県内小学校で科学実験などの出前講座の提供
- ◇飲食店で島根の食を紹介するイベントを開催

都市部で活動

- ◆ しまコトアカデミー
- ・都市部在住で島根県の地域づくりに関心を持つ方を対象に連続講座を開講。
- ・例年は都市部での座学＋県内でのインターンシップを行っているが、今年度はオンライン講座「しまコトDIGITAL」を開設
- ⇒これまで東京講座に110名(H24～)、関西講座に48名(H27～)が参加。
- ⇒受講後の地域活動やUIターンに繋がった事例が多数。

- ◆ そのほかにも、島根の人と繋がるセミナーをオンラインで開催。



暮らしを育てる「島根の日常」  
～スライスが生み出す、暮らしの豊かさと面白さ～  
9.10thu 20:00 - 21:30

島根にUIターン

- ◇中山間地域で訪問看護事業所を設立
- ◇地域おこし協力隊として、特産品開発に参加
- ◇NPOに就職し商店街のにぎわい復活に貢献

## 3. 移住・定住の促進

### 都市部から地方への人の流れをしっかりと掴むため、情報発信・相談体制を強化

#### ◆ しまね移住フェス

- ・移住相談をオンラインで行うUIターンイベントを開催(参加者数247人)

#### ◆ しまね移住ワンダーランド

- ・移住相談や島根暮らしの体験、トークショーなどを提供するオンラインイベントを開催(11月28日開催予定)

#### ◆ 相談体制

- ・東京のアンテナショップ「日比谷しまね館」に移住相談コーナーを設置。  
⇒5月29日オープン。4～10月までの相談件数348件(昨年度174件)。
- ・オンライン上のニーズに対応するため、オンライン相談も開始。  
⇒5～10月までの相談件数77件。



日比谷しまね館での相談風景

### テレワークなど新たな社会ニーズにも対応し、人・企業の地方分散を推進

#### ◆ 県外の方が島根でテレワークをするための経費の一部を支援【R2.10月開始】

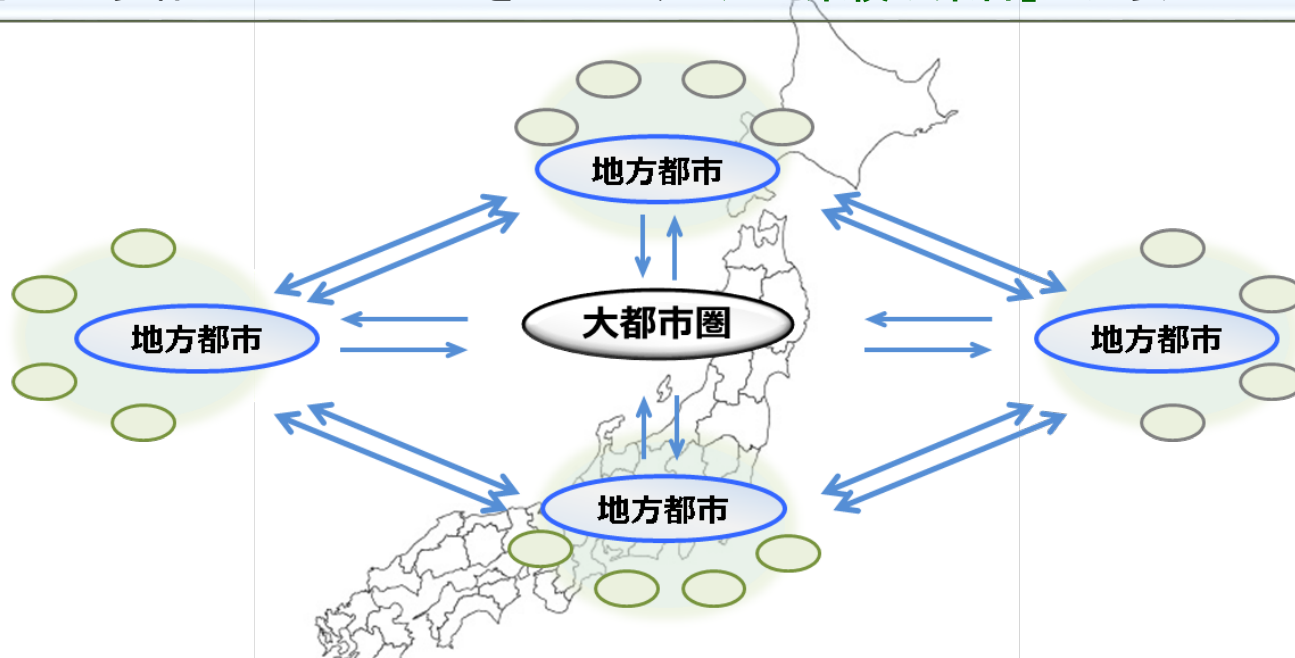
- ・島根でテレワークにより勤務を行う県外企業の従業員や個人事業主を対象に、通信環境整備費、通信費、シェアオフィス使用料、雇用企業への出張交通費を支援。

#### ◆ 市町村の遊休施設を貸オフィス等として整備する際の経費の一部を支援【R2.4月開始】

## 適散・適集社会

### ウィズコロナ時代の新たな地方創生

- 人と人の距離を保つ分散の大切さ ⇒ 「開放的で快適な環境の創造」
- テレワーク等の急速な浸透 ⇒ 「デジタル技術による空間的制約の緩和・新たな時間の創造」
- ≪一方で≫ 多様なイノベーションを生み出す「**知の集積や集合**」も必要



日本が持続的に発展し続けるためには、「適切な分散」と「適切な集中」をうまく組み合わせた『**適散・適集社会**』の創造が求められる。

## 《移住・定住の促進》

東京・有楽町に移住相談窓口を設置(H26.10)以来、相談件数、移住実績ともに年々増加


移住世帯数 **約3倍** 

(68世帯(H26)⇒199世帯(R1))

相談件数 **約4倍** 

(816組(H26)⇒3,188組(R1))

移住希望地域ランキングは年々上昇し、令和元年は2位を獲得

令和元年度 **2位!** 



平成26年度 18位



あびいちゃん

### AI移住相談窓口(あびいちゃん)の状況

「LINE」による、移住に関する各種相談を可能とするAI技術を活用した移住相談システム(あびいちゃん)を導入!

- 登録者数:17,822人(うち県外96.3%)※10/11現在
- 1日当たりの相談件数:最多700件以上
- 利用時間:東京窓口の営業時間(10時から18時)外 82.3%

### リニューアル

昨年11月の試験運用開始から約1年を経て、10月から大幅リニューアルを行い本格運用開始!

- 自由入力から、AIが相談者のニーズなどを判断し回答を出し分け
- 対話の始め方や誘導パターンなど、回答情報を増加
- 相談者の名前への呼びかけや、イベント参加などによりポイントがたまって特典が提供される機能の追加
- SNSからAI相談窓口への誘導や、オンラインイベント経由による、地域の人や関係機関等へのつながりを拡充

### ひろしまシフトツーリズム

- 体験コンテンツの作成と実施  
地方での働き方や暮らし方を体験できるコンテンツの作成、実施する市町への補助
- 受入環境整備を行う市町への補助  
通信機器の整備、コワーキングスペース等への改修など
- デジタルマーケティング等による情報発信、移住HP「HIROBIRO.」での体験談等の発信
- 移住体験者に対する交通費、宿泊費補助

## 《関係人口の創出》

### 里山ウェブ拡大プロジェクト(平成27年～)

地域貢献に高い意欲を持つ首都圏の若い世代と課題を抱える中山間地域とのマッチング(これまでに11市町に204名が参加)



### 参加後の主な取組

《神石高原ヒーロープロジェクト》  
首都圏の学生たちが神石高原町の良さを伝えるため、町の子供たちに対して座学や体験活動を実施



《三次スナックあぐり》  
新橋のスナックにおいて三次の産品を囲み、三次愛を語り合う活動を実施(これまでに19回開催)

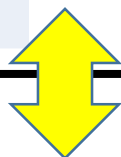
## 1 内閣府意識調査

テレワークは34.6%が実施、東京23区：55.5%

**関心度**  
 ・テレワーク経験者の4人に1人程度（約25%）が関心度高まる  
 東京23区の20歳代35.4%は地方移住に関心

## 2 山口県の本年度実績(4月～8月)

相談件数	3,747件(390件↑)
移住者数	1,336人(43人↑)



- **コロナ禍に対応したオンライン移住イベントへの参加**
  - ・ 5/31第1回オンライン全国移住フェア
  - ・ 6/26~27 みんなの移住フェス2020
  - ・ 10/4 第2回オンライン全国移住フェア
  - ・ 10/10.11ふるさと回帰支援センター主催

- **オンライン移住相談の開始(6/22～)**  
 オンライン上のカレンダーから予約可能  
 平日 9:00～21:00  
 土日 10:00～18:00  
<https://timerex.net/s/yamaguchi.pref.s/moutsoudan/e12ef48a>

- **戦略的な情報発信**
  - ☞ 1万5千人以上の会員を有する移住スカウトサービス「SMOUT」を活用した情報発信
  - ☞ 「SMOUT」と連携したY Y！ターンカレッジの実施  
<https://smout.jp/plans/2007>

**やまぐち暮らし | スタート!!**  
**オンライン移住相談**

山口県には海も、山も、美味しい食もある暮らしが待っています。見つけた土地の良さをぜひ感じて、移住したい場所が見つかるまで、心置きなくお話し合ってください。また、移住を考えた際に必要な、様々な情報を提供いたします。

**オンライン相談**  
 下記URLから予約をお願いします。  
 相談先  
 相談フォーム  
<https://smout.jp/event/online-scout-center>

☐ オンライン相談時間  
 平日 9:00～21:00  
 週末相談時間 20:00  
 土日 10:00～18:00  
 (休日はお休みです)

**オンライン移住相談の5ステップ**

- 1 予約の申し込み  
上記のご希望フォームから申し込みください。
- 2 予約の確定  
メールで日程を調整の上、予約を確定します。
- 3 オンライン相談待機  
オンライン相談の開始メールが届きます。
- 4 アプリをダウンロード  
招待URLをダウンロードしてアプリをダウンロードしていただきます。  
(2回目以降は不要です)
- 5 オンライン相談  
時間になりましたらアプリを起動してオンライン相談を開始します。

オンライン移住相談問い合わせ先  
 やまぐち暮らし東京支援センター  
 TEL: 03-6273-4887  
 E-mail: yamaguchi@yamatokai.com  
 相談時間 10:00～18:00  
 ※お休日は、お盆、年末年始は休み。

【事務局】  
 個人で申し込みはできません。事務局  
 (山口県総合会議室山形階4号会議室)  
 〒753-8501 山口県山口市 電話: 083-933-2546(直通)  
 FAX: 083-933-2546(直通)

【お問い合わせ】  
 山口県、暮らし、移住に関するお問い合わせは、こちらからどうぞ。  
<https://www.yamaguchi-pref.jp/>





首都圏向けリアル案内所

## 山口つながる案内所

7月1日開設

※アンテナショップ

「おいでませ山口館」内

専任の案内人による  
情報発信

- ・ ふるさと納税
- ・ 農山漁村体験
- ・ 地域おこし協力隊等



## ワーケーションの推進

### 全国的な推進

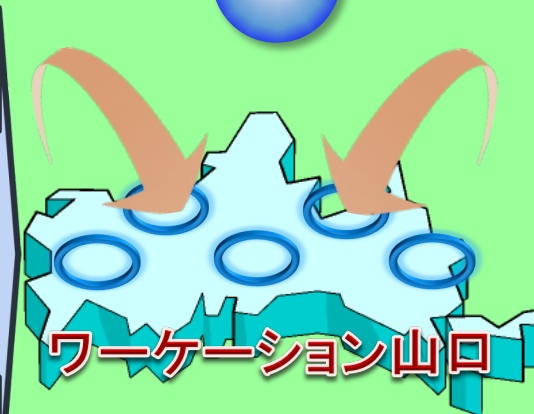
- ◎ 企業の取組を推進するための機運醸成や労働環境の整備促進
- ◎ 全国的なワーケーションマッチングシステムの整備

ワーケーションの定着化

### 地方の環境整備

- ◎ 中山間地域におけるワーケーション用シェアオフィス等整備に対する財政的支援
- ◎ 地方における官民連携の先導的モデル事業に対する重点支援

ワーケーション拠点の充実



## 期待される効果

### 企業・社員

- 生産性向上やイノベーション・アイデア創出
- 社員の休暇取得の促進
- 柔軟な働き方の推進等

### 地方・山口県

- 交流人口の拡大
- 地域経済の活性化
- 移住の促進等

都市部企業と地方（自治体・企業・住民）の継続的関係の構築、共創・協業推進等に繋ぐ



## 関係人口の拡大

本県中山間地域の担い手不足等課題解決に貢献

## 取組の位置付け

### おかやま創生総合戦略（令和2年3月改訂版）〔抜粋〕

国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略で示された関係人口、Society5.0、SDGs等の視点を踏まえ、多様な主体と連携し、本県の強みを生かしながらおかやま創生の実現に向けて、より実効性のある対策を推進する。

## 関心を引く・・・情報発信力の強化

### 岡山県のイメージをインパクトのある形で全国に発信

#### ■晴れの国イメージアップ推進事業

観光誘客や移住定住などの後押しとなるよう、県のポジティブなイメージを全国に浸透させるため、本県のイメージアップを図るとともに、首都圏メディアへの積極的な取材誘致に取り組んでいる。

おかやま  
果物時間



都内で県産フルーツを味わえるイベント開催（2020年）



ハリウッド映画完成披露試写会（東京）



伊原木知事 図書館職員として出演

#### 2019年制作

PR動画「ぽっり、岡山」

- 再生回数53万回（2020年9月時点）
- 第9回観光映像大賞（観光庁長官賞）ファイナリスト5作品に選出
- 牛窓（瀬戸内市）ほか全編岡山口ケ（出演者全国募集）

## 関わりの創出・・・中山間地域等への関心や愛着の醸成

### 地域課題解決への参加

#### ■地域に飛び出せ大学生！おかやま元気！集落研究・交流事業

県内及び首都圏に所在する大学の研究室が、「おかやま元気！集落」の住民と協働して現状把握、課題分析を行い、若者の視点や発想を生かした課題解決に取り組んでいる。

#### ○課題解決事例

- ・全住民参加の防災訓練の開催
- ・特産品のブランディング
- ・鳥獣被害の軽減 など



## 移住・定住の促進

### 移住希望者への情報発信

#### ■「おかやま晴れの国ぐらし」デジタルマーケティング事業

ビッグデータに基づき、効果と検証を繰り返すことで移住希望者のニーズにあった効果的な情報発信を行っている。

#### ■晴れの国ぐらし移住相談会の開催

コロナ禍による首都圏等でのイベント等が中止や延期となるなか、7月からオンライン相談会とセミナー、11月からオンラインバスツアーを開催するなど、デジタル技術を活用した情報発信を行っている。



### 受入体制の整備

#### ■移住・定住促進応援事業

県外からの移住検討者の課題やニーズを踏まえ、市町村が移住及び定住の促進に向けた取組を行う上で必要な事業を支援している。